

海外安全対策情報（平成26年第3四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 政府の政策等に不満をもつ一部の団体によりデモや集会等が頻繁に開催されている。昨年9月には環境保護を標榜する団体が、審議中の法案に反対し小銃等を携行して政府庁舎付近で抗議活動を行った結果、銃が暴発するという事件も発生した。
- (2) 国内の経済の先行きに関する不安、貧富の差の拡大や資源ナショナリズム等から、外国人をターゲットとした暴力行為や強盗・窃盗事件が昼夜を問わず発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) モンゴル国警察庁から入手した本年7月から9月までの犯罪認知統計によると、総犯罪認知件数は7,392件と2013年の同時期に比べて7.2%の増加となっており、犯罪増加傾向が継続している状況である。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	62件	(前年同期比15.1%増)
強盗	135件	(同27.8%減)
強姦	81件	(同3.6%減)
暴行・傷害	1,971件	(同8.7%減)
窃盗	2,000件	(同0.3%減)
ひったくり	54件	(同14.3%減)
詐欺	459件	(同10.6%増)

日本では、窃盗犯が全体犯罪認知件数の7割以上を占めるのに対し、モンゴルでは暴行・傷害といった粗暴犯が窃盗犯と同様に高い割合を占めており、また、人口比に対する殺人・強盗・強姦といった凶悪犯の認知件数が、日本の場合の約10倍も多いという傾向が見られる。(2013年中の統計)

また、最近では覚醒剤、大麻等の使用、密輸・密売等、薬物関連事案が急増しており、新たな社会不安となっている。

- (2) 邦人被害事案

邦人旅行者が財布、旅券等を盗まれる被害が数件報告された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

発生なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。

(了)